

参 考 資 料

参一1 平成26年度 完成予定区間(箇所)

参一2 平成26年度 完成予定区間の概要

○常磐自動車道 浪江IC～南相馬IC

○常磐自動車道 相馬IC～山元IC

○首都圏中央連絡自動車道 久喜白岡JCT～境古河IC

○首都圏中央連絡自動車道 稲敷IC～大栄JCT

参一3 NEXCO東日本 管内図

参-1 平成26年度 完成予定区間



<完成予定区間>

路線名	道路名	区 間	延長(km)	備 考
高速自動車国道				
常磐自動車道	常磐自動車道	なみえ みなみそうま 浪江IC～南相馬IC	18.4	
常磐自動車道	常磐自動車道	そうま やまもと 相馬IC～山元IC	23.3	
一般有料道路				
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	圏央道	くきしらおか さかいこが 久喜白岡JCT～境古河IC	19.6	
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	圏央道	いなしき こうざき 稲敷IC～神崎IC	10.6	
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	圏央道	こうざき たいえい 神崎IC～大栄JCT	9.7	

参-1 平成26年度 完成予定箇所

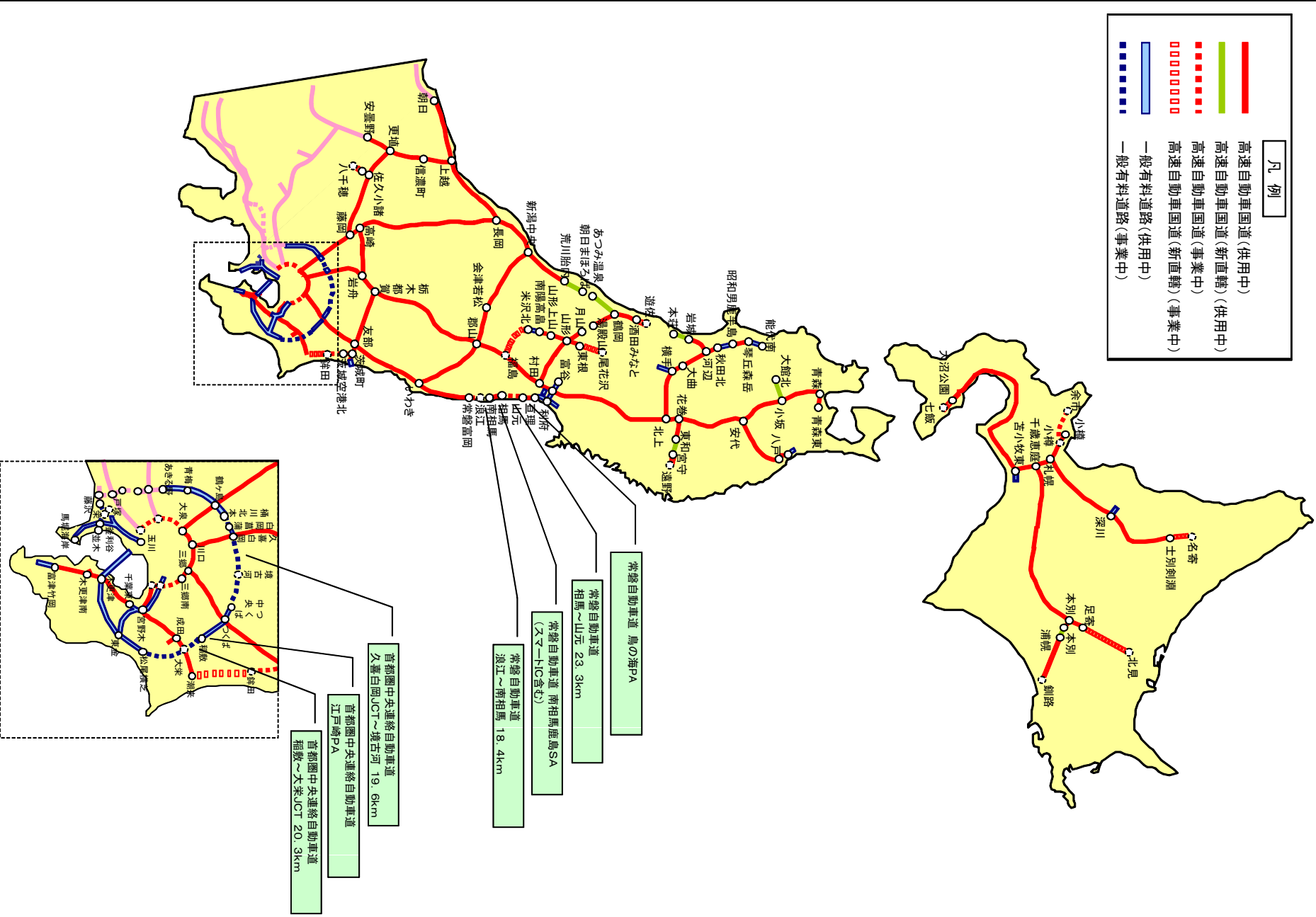


<完成予定箇所>

路線名	道路名	箇所	備考
高速自動車国道			
常磐自動車道	常磐自動車道	かしま 鹿島スマートIC※	
常磐自動車道	常磐自動車道	みなみそうまかしま 南相馬鹿島SA	
常磐自動車道	常磐自動車道	とりのうみ 鳥の海PA	
一般有料道路			
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	圏央道	えどさき 江戸崎PA	

※印の施設名称は仮称です。

参一1 平成26年度 完成予定区間(箇所)



参-2

平成26年度 完成予定区間の概要 [常磐自動車道 浪江IC～南相馬IC]

NEXCO

- 完成区間 常磐自動車道 浪江IC～南相馬IC
- 延 長 18.4km
- 幅員及び車線数 3.5m×2車線
- 設計速度 100km/h
- インターチェンジ等 1箇所
・浪江IC
(一般国道114号に接続)

○路線概要

常磐自動車道は、東京都を起点として関東地方と東北地方南部の太平洋側を北進し、宮城県仙台市に至る総延長約350kmの高速自動車国道です。太平洋沿いの主要地方都市を結び、産業、経済、文化の発展、物流の効率化、医療の高度化、地域連携軸の形成に不可欠な道路であり、国道6号や東北自動車道等の交通分散機能、事故・災害時におけるリダンダンシー機能を有する道路です。

また、周辺地域は平成23年3月11日に発生した東日本太平洋沖地震による原発事故で一部が帰還困難区域等に指定されており、今回の完成により復興促進が期待されております。



参-2

平成26年度 完成予定区間の概要 [首都圏中央連絡自動車道 久喜白岡JCT～境古河IC]

NEXCO

○完成区間 首都圏中央連絡自動車道 久喜白岡JCT～境古河IC

○延長 19.6km

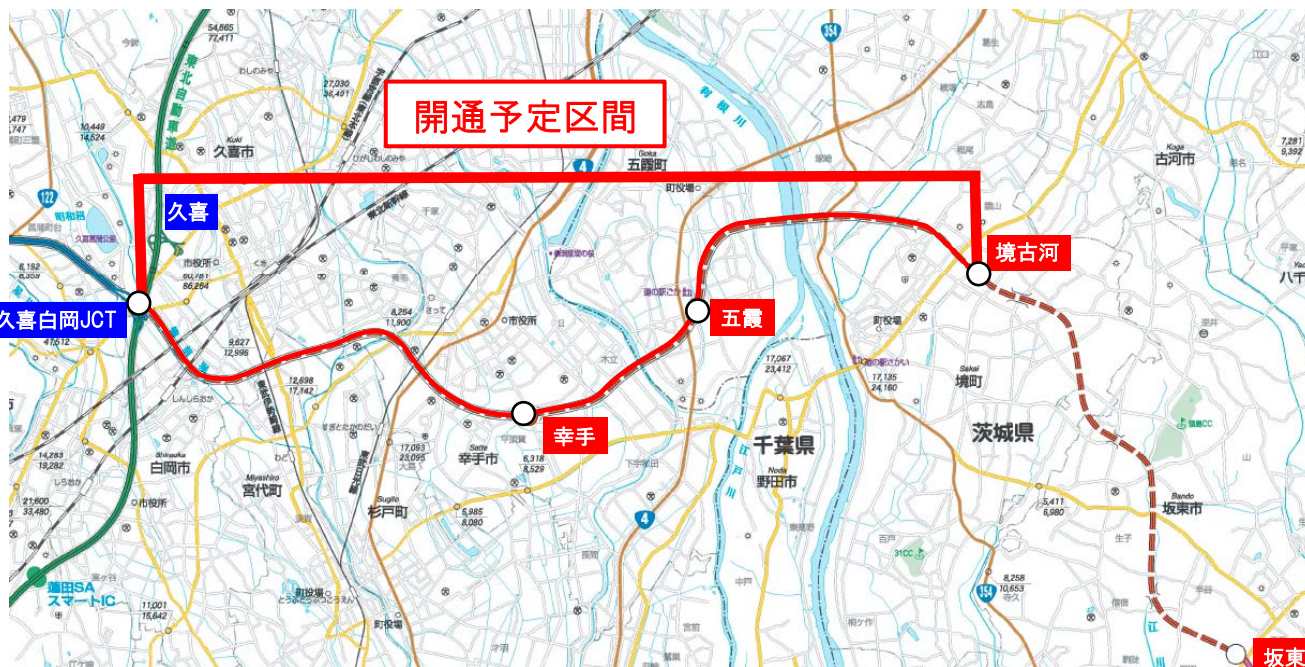
○幅員及び車線数 3.5m×2車線

○設計速度 100km/h

○インターチェンジ等 3箇所

- ・幸手IC
(県道383号惣新田幸手線に接続)
- ・五霞IC
(国道4号新4号バイパスに接続)
- ・境古河IC
(国道354号バイパス(建設中)に接続)

○路線概要



首都圏中央連絡自動車道は、都心からおよそ半径40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの高規格幹線道路です。横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津などの都市を連結し、東京湾アクアライン、東京外かく環状道路などと一体となって首都圏の広域的な幹線道路網を形成する道路です。

今回の完成により、埼玉県と茨城県が結ばれ、沿線の地域経済の活性化などの効果が期待されます。

参-2

平成26年度 完成予定区間の概要 [首都圏中央連絡自動車道 稲敷IC～大栄JCT]

NEXCO

○完成区間 首都圏中央連絡自動車道 稲敷IC～大栄JCT

○延 長 20.3km 稲敷IC～神崎IC 10.6km
神崎IC～大栄JCT 9.7km

○幅員及び車線数 3.5m×2車線

○設計速度 100km/h

○インターチェンジ等 4箇所
・稲敷東IC
（県道江戸崎下総線に接続）
・神崎IC
（一般国道356号に接続）
・下総IC
（県道成田下総線に接続）
・大栄JCT
（東関東自動車道(成田JCT～大栄IC間)に接続）

○路線概要

首都圏中央連絡自動車道は、都心からおよそ半径40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの高規格幹線道路です。横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津などの都市を連結し、東京湾アクアライン、東京外かく環状道路などと一体となって首都圏の広域的な幹線道路網を形成する道路です。

今回の完成により常磐自動車道と東関東自動車道が接続され、都心を通る車両をバイパスさせ、都心の交通混雑を緩和する役割を果たすほか、広域的な幹線道路を構成し、観光地への時間短縮や物流の効率化による産業・経済の発展が期待されます。

